

■ 山地災害から身を守るため

危険箇所を知ろう！

あなたの町の山地災害危険箇所がどこにあるのかを知っておくことは、災害に備えるためにとても大切です。

身近に危険な箇所がないかどうか、あらかじめ防災マップなどで確認しておきましょう。



こんなところが 危険！

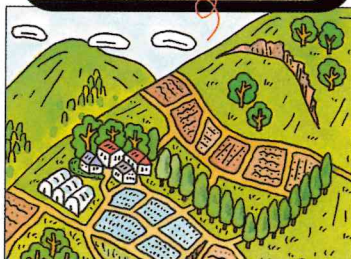
山崩れが起りやすい斜面

- 山の斜面に亀裂やわき水がある
- 岩石がもろく崩れやすい地質である
- 過去に山崩れがあった
- 山崩れがあった場所に隣り合っている
- 急斜面で、軟弱な地盤がある
- 水の集まりやすい斜面地形である
- とときどき落石がある



地すべりが起りやすい山の斜面

- 過去に地すべりのあったところで、今も少しずつ動いている
- わき水や地下水が豊富である
- 断層があるところやもろく崩れやすい岩石がある
- 火山作用あるいは温泉の作用で粘土化した土がある



土石流が起りやすい溪流

- 溪流の勾配が急である
- 溪流に大きな石がごろごろしている
- たくさんの土砂が堆積している
- 上流が山崩れなどで荒れている
- 過去に土石流があった



危険信号を キャッチ したら！

山崩れの恐れがある地区では、テレビなどの気象情報に注意しましょう。



危険を感じたら早めに
指定された場所へ避難しましょう！



災害が起こったら、
すぐ110番か119番へ！



危険！ 災害の危険がある場所には
近づかないようにしてください！



ふだんから

家族や地域ぐるみで山崩れの恐れがある箇所
や避難場所について十分に話し合うとともに、
実際に自分の目で確認しておきましょう。



■ こんな時はすぐに避難を

山地災害の 危険信号に注意！

山地災害が起こる場合、山の斜面や川の流れをよく観察してみると多くの場合、危険信号と思われる変化が現れます。



■ 山地災害危険地区のあらまし

山地災害危険地区について

山地に起因する災害を未然に防止するため、昭和53年度から山地災害危険地区を調査しています。

平成29年度末に全国で約19万4千箇所の山地災害危険地区があります。

本県では、令和6年度末に5,026箇所の山地災害危険地区があります。

山腹崩壊危険地区	2,538箇所	(民有林 2,490箇所、国有林 48箇所)
地すべり危険地区	25箇所	(民有林 25箇所、国有林 1箇所)
崩壊土砂流出危険地区	2,463箇所	(民有林 2,334箇所、国有林 129箇所)
計	5,026箇所	(民有林 4,849箇所、国有林 177箇所)

山地災害危険地区の対策として、国庫補助及び県単独による治山事業を積極的に推進するとともに、関係者への周知を図るため愛知県地域防災計画及び市町村防災計画への搭載、山地災害危険地マップの配布、山地災害危険地区の点検等を実施しています。

山地災害危険地区の定義

「山地災害危険地区」とは、地形・地質等の自然条件や保全対象等の社会条件により、山腹崩壊危険地区、地すべり危険地区、又は崩壊土砂流出危険地区と判定した地区をいいます。

- ・ 山腹崩壊危険地区とは、山腹崩壊により公共施設・人家等に直接被害を与える恐れのある地区。
- ・ 地すべり危険地区とは、地すべりにより公共施設・人家等に直接被害を与える恐れのある地区。
- ・ 崩壊土砂流出危険地区とは、山腹崩壊又は地すべりによって発生した土砂等が土石流となって流出し、災害が発生する恐れのある地区。

※「土石流」とは、土石流のほか、泥流及び異常な掃流を含めたものをいう。
※これらの危険地区は、現在の技術水準の調査によって把握されたものです。この危険地区以外でも、災害が発生する可能性があります。